

皆野長瀨ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第3木曜日 12:30~13:30 第2・第4木曜日 18:30~19:30
 ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
 ◇点 鐘 山田 利明会長
 ◇ソング 奉仕の理想



世界への
プレゼントになろう

第1346回例会 平成28年1月14日(木)

会長の時間

山田 利明

年が明けて2回目の例会になります。

今週は正月になっていい事がありました。仕事で私に負担が掛かっている事が多く疲れているのですが、大企業の仕事を受けています。許可が下りて出来ればみんなが助かるので、私も頑張っています。秩父の仕事と川越の仕事なので大変ですが、仕事はあった方がいいと社員と話し合いながらやっています。私のやっているのは開発許可で、建物が建てられるようにするのですが、いろいろ困難な事があります。地主がうるさい、水を流そうと思ったらそこは流せないとか、自分が計画したものと違う要素が出て来ますので乗り越えるのが大変です。更に期間が決まっているので、多種多方面へ調整しなくては行けないので本当に大変です。次に先日、新入会員の候補に挙がって方が入会して頂ける事になりました。もう1つは次男に子供が3人いますが、2日前に更に双子が生まれました。すでに双子がいるのですが、また双子で5人になりました。嬉しい悲鳴ですが、これからしばらくは落ち着かないかなと。これで私も孫が8人になりました。私の趣味の1つにスキーがありますが、仕事も忙しく、ロータリーもありますし家庭の事もありますので、なかなか行く事が出来ません。孫の人数が多くなりましたので、みんなで手伝って育てるという事になります。3ついい事がありましたのでご報告させて頂きました。



《理事役員会報告》 プログラムについて

1月	1	木	休会	
	7	木	通常例会	自由協議
	14	木	通常例会夜間例会(いい話)	理事役員会
	21	木	通常例会	干支の話
	28	木	新年会	養浩亭
2月	4	木	通常例会(自由協議)	理事役員会
	11	木	休会	
	18	木	通常夜間例会	いい話
	25	木	秩父RC合同例会	有隣クラブ

28日の新年会は養浩亭で点鐘は午後6時30分、会費は会員3,000円、家族2,000円になります。2月の理事会は2週目の11日が休会になりますので、4日になります。25日の秩父との合同例会の会場は有隣クラブになります。

いい話 人をその気にさせるには



横田 博次会員

話の主題ですが、教員時代の話をします。その時の高校生を対象として「生徒をその気にさせるには」という事です。延長で言えば「人をその気にさせるには」というタイトルで話をさせて頂きます。

まずこの模型が何かお分かりになりますか。原理的にダンプカーで言えば、後ろから見ると両側のタイヤの真ん中に大きなものの中に入っている装置です。要するにエンジンは1個ですが、カーブを切る時には外側のタイヤは早く回って内側のタイヤはゆっくり回っています。それを作り出す為の装置、その原理になる物です。今日持って来た物は担当していた生徒が作った物です。これは残った部品を集めて組み立てて自分の記念にした物です。



私の教員歴ですが、大学は機械工学科を出ま

幹事報告

宮前 英雄

1. 地区事務所より
 - ①地区大会における選挙人名簿提出のお願い
 - ②米山記念奨学生終了式及び歓送会の案内
 - ③コーディネーターニュース
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま



した。免許は工業の機械です。最初の赴任地が児玉工業高校でした。12年いました。その後、深谷に教育センターがありますが、4年勤めて行田工業で7年、その後また児玉に教頭として戻って3年、また教育センターに行き、当時統合されて深谷と浦和の合同の教育センターになりました。本拠地は深谷でしたが、週に2回くらいは浦和に行っていました。そこで3年。その後校長として児玉に戻って5年いました。現役最後は校長として熊谷工業でした。

今日の話は最初の12年勤めた時の話です。機械科に入って来た生徒に対して授業をしますが、座学の中で理論的な事をやるのですが、これは大学でやるような内容を高校生にします。教科書を見て驚きましたが、大学で我々がやってきた内容と工業の理論なので内容は同じです。難しいので、かみ砕いて少しでも分かるように話をするわけですが、ついてくる生徒は少なく、優秀なごく一部の生徒がついて来る事が出来ました。下の方の生徒は「もう知るか」という感じでした。やる気という事ではレベルが低い状態でした。楽しかったのは、座学の他に実習がありましたので、物作りの実習を行います。生徒達も一番楽しい授業でした。1年生から実習しますが、3年生になって総合的な実習をやって、これぞ3年間の総まとめという実習をやりたいと考えていましたが、最初は単体としての歯車を作らせたり、単体としての軸を作らせたりした経緯があります。それだけではそれが何の役に立つか子供達にも分からないわけです。ただ教員から作れと言われて、作らないと卒業出来ないで作るだけでした。物作りのおもしろさを自分で体感して卒業すると考えたかと言うと、教員も最初の5年くらいは夢中でやっていたので、そこまで行けません。余裕が出て来て7、8年目くらいの時に子供達に何か「やったぞ」という気持ちを持たせるにはどうしたらいいか考えました。歯車は作らせていたので、学校の機械を見て思いついたのが、デファンシャルギアでした。それを学校で作るためにはという事で、学校では傘歯車は作れません。平歯車、平行に重なる歯車しか作れません。原理は同じですから作れないかと考えていたところ思いついたのがこの装置です。図面を作って配りました。1班が10名くらいだったので、部品の制作を割り振ります。誰か1人作れなくても機械にならないよと。責任を負わされるので子供達はびびります。個々に作業をするわけですが、教員1人です。目が届きませんので行程表も作りしました。部品ですが、軸受けの穴の直径と入っている軸の径の差が0.2mm以内で作ってあります。0.2mmは相当大きな差です。ゼロを1つ増やさないといけないのですが、そうすると組み立てられなくなります。少しゆるめにして組立るように工夫しました。精密にという事を求めると機械としてうまく組み立てられません。具体的な目標をまず持たせる。グループでやるので責任を持たなければいけない。そうなるとお互いに守るべき事を守って作り上げないと機械として組み立てられないので、子供達はかなりのプレッシャーを感じます。作業については文章で支持をし、必要に応じて言

葉でも指導しましたが、基本的には自分で考えて作っていくという事でした。出来上がった物が形になって、おもちゃの自動車だったらエンジンに乗せて動かす事が出来るという話をして、価値のある物だという事が分かると子供達も自分も社会の中で役に立つという事が実感出来るようです。非常に大きな経験でやって良かったなど感じるようです。不承不承初めても、だんだん子供達も夢中になってきます。最終的に機械の形になって、ちゃんと回る事が確認出来る、やる気のなかった子供達が手を叩いて喜びます。一番嬉しかったのは、物作りの楽しさ、責任が少しでも分かったような気がするという感想文を読んだ時でした。やって良かったなど思いました。工業高校の機械科を卒業する時にチームで物を作るという事はどういう意味があるのか。企業の中で何をやるのかという事に通じるわけです。工業高校を卒業する以上は、物作りの面白さなり大切さなり、社会でどう役に立つのか理解させて卒業させたいなど。いくら頭から言っても分からないので、自分で体験して理解するという事が大きいと思います。これを作り始めたのが私が教員になって7、8年目ですが、この実習は私が校長で現役を終わるまでやっていました。今も変わることなく作っていると思います。自分で考えた教材を今も使われているという事は大変嬉しいですね。教育センターでも埼玉県中の商業、工業の生徒が集まって実習するような施設でしたので、コンピューター関係の教材を作って残して来ました。行田ではミニSLを子供達に作らせました。管理職になる前には教材作りに夢中になっていました。座学では教えるのが大変でしたが、実習については子供達と一緒に楽しめるようにやってきました。物作りの楽しさと大切さをどうやって実感出来るか。そのためには個々の責任分担をはっきりさせて、共同して1つの目標に向かって進むという教材があれば、子供達も頑張ってくれるという事が実感として分かりました。最初の12年間は夢中でやっておりましたが、充実していました。最初の12年間でやってきた事の1番のポイントとなる話をさせて頂きました。

ニコニコボックス

- ♪平成28年1月13日(水)に孫の7番目、8番目が生まれました。私の次男のムスコは子供も5人になってこれからが大変です。協力をしてあげなければ育ちません。 山田 利明
- ♪今月誕生月73才になりました。今は体力も以前とちがって頑張りがきかなくなりました。次世代に受け継ぐ事を実行しているの毎日忙しく動いています。 宮前 英雄

合計 12,000円

出席率 75.0%